

気候変動に対する行動を促す
ソリューションアイデア

エントリーNo.20137

発想の起点

気候変動への改善意識はあるものの、行動への「負担」が勝っている・・・



ただし、もし、

「1つの行動で気候変動も、他の社会課題も解決できる」

となれば、具体的な行動を起こしやすくなるのでは？

たとえば、子供の「学力」だけを伸ばす塾に子供を通わせなくても子供の「学力」も、「人間性」も、伸ばす塾なら通わせたいようになるように。

解決したい社会課題

そこで、我々が気候変動問題とともに解決したい社会課題は

シニアの免許返納問題

運転能力を保てなくなった高齢者の方に
どのように免許証を返納いただくか？

課題ボリューム

109万人 → 1130万人

平成の間に70歳以上の免許保有者は約10倍に。
課題のボリュームとして小さいものではない。

出典) 朝日新聞デジタル2019年6月22日「高齢の免許保有者、平成の間に109万→1130万人」

<https://www.asahi.com/articles/ASM6P3444M6PUTFK005.html>

予想される結果

運転能力が保てなくなった高齢者の運転が減れば・・・

危険運転の数が減る

&

車から排出されるCO₂も減る



生活の安全も、気候変動の問題も
より良くなっていく一歩となるはず。



Green License Project



Green License



No.00002343445

name

森田象二郎
morita shojiro

1940年10月20日生まれ

神奈川県川崎市宮後区有川 10-9-3

アイデアの概要

70歳以上のシニアドライバーが運転免許を返納すると、
代わりに「Green License」をお渡し。

Green Licenseを見せると、全国の各賛同企業から特典を受けられるように。

<特典イメージ>

温泉や大浴場が割引！



流通店舗で
もらえるポイントがUP！



タクシーが割引に！



カフェで
コーヒー1杯が無料に！



スポーツクラブで
利用料が割引に！



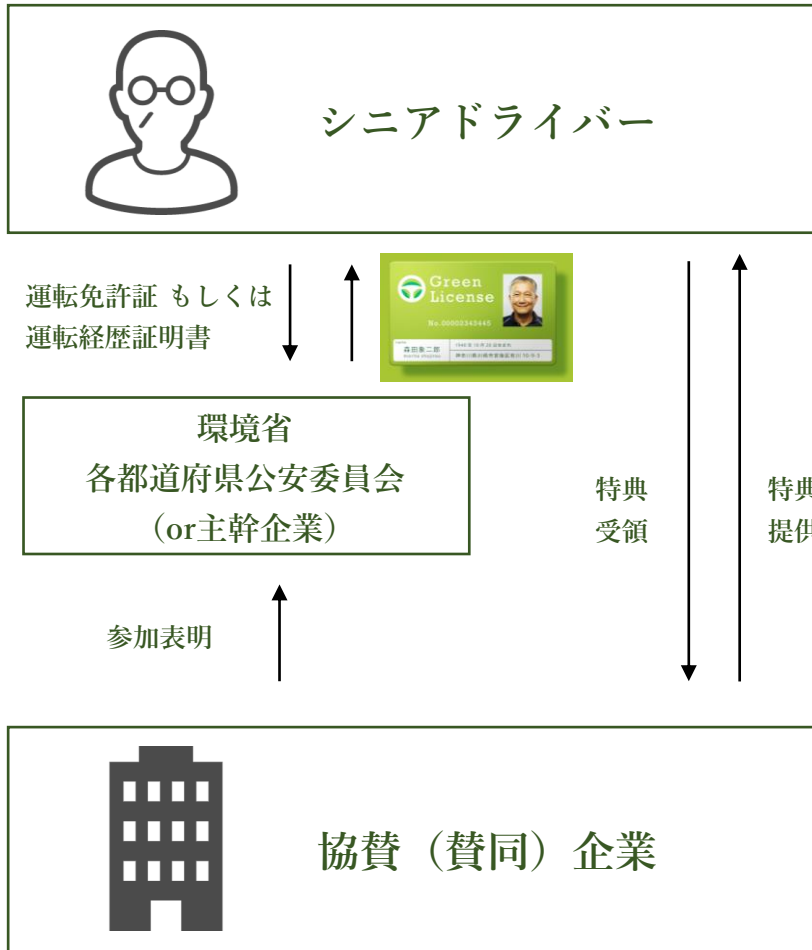
観光施設も
割引に！



アイデアの概要

具体的な仕組み

各地のシニアドライバーの ボリュームについて



東京都、大阪府の
70歳以上のドライバー

126.7万人

一都三県+大阪府
(東京、神奈川、千葉、埼玉+大阪府)
70歳以上のドライバー

386.6万人

札幌市、名古屋市、広島市、福岡市など
各県庁所在地まで含めると
さらに多くのターゲットが見込めます

各所の反応イメージ

免許返納したシニアを気候変動に取り組むヒーローにしつつ、
免許返納後の暮らしも豊かにする企画。

ご家族



高齢者の家族に
免許返納を
より勧めやすくなる

シニアドライバー



環境も守れるうえに
具体的なメリットもあり、
より免許返納しやすくなる

Green
License
Project

社会全体として



免許返納したシニアへの
リスペクトが増す

企業やメディア



2つの課題への解決策
だからこそ、
参加する意義、
報道する意義が大きい

備考

シニアの方が、運転免許返納 で、取得できる「運転経歴証明書」を店頭などで見せることで特典がもらえるサービスは、既に警視庁主導で2019年から開始済み。
(東京都内の店舗を中心にいくつかの企業も賛同)

この仕組みに、「気候変動防止」の意味や文脈を加え、
当プロジェクトに発展的に変えていくことで、
“2つの社会貢献” となり、より多くの企業・人が参加しやすいものに。

運転免許
自主返納を
サポートする
既存企画



Green
License
Project

企業の参加の意義が増える = より多くの企業が参加できる
シニアを“気候変動に取り組むヒーロー”として見える化できる

参考) 運転免許自主返納のサポートについて

<https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotsu/jikoboshi/koreisha/shomeisho/index.html>